

令和5年度 事業報告書

(事業年度 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日)



香 蘭

学校法人 山内学園

祈りつゝ育てしまこと

あらわれて

気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長 山内良子先生著

目 次

■法人の概要・設置学校・建学の精神	1～2P
■学園沿革・歴代理事長	3P
■法人の組織構成図	4P
■役員・評議員	5P
・名簿、役員賠償責任保険契約等の状況	
■学生（生徒・園児）・職員現員	6P
■令和5年度事業の概要	7～9P
・卒業制作（短期大学・専門学校）	10P
■香蘭女子短期大学の教育活動	11～19P
①3つのポリシー	
②ディプロマ・ポリシーのアセスメント	
③学生生活満足度調査結果	
■香蘭女子短期大学の研究活動	20P
■令和5年度地域連携取組状況	21～23P
■令和5年度卒業生（短期大学・専門学校）進路状況	24P
■人事について	25～27P
■施設・設備等について	28～29P
■令和5年度決算の概要	30～31P
■資金収支計算書・活動区分資金収支計算書	
・事業活動収支計算書	32P
■貸借対照表	33P
■その他の財務状況	34P
・有価証券、借入金、学校債、寄附金、補助金 関連当事者等との取引、学校法人間財務取引	
■財産目録	35P
■計算書等経年比較（平成31年度～令和4年度）	36～39P
■経営状況の分析、今後の方針等	40P
■監査報告書	41P

法人の概要



法人名: 学校法人 山内学園 (昭和23年2月 法人設置認可)

理事長: 坂 根 康 秀

所在地: 〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>

設置学校



香蘭女子短期大学

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目2番1号

学長 坂 根 康 秀

設置学科: ファッション総合学科・食物栄養学科・保育学科・ライフプランニング総合学科
(テクニカル専攻科 1年課程)

電 話: (092)581-1538 FAX: (092)581-2200

H P: <http://koran.ac.jp/>



香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長 深 田 勝 久

設置学科: ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ファッションビジネス科(2年課程)

電 話: (092)751-1331 FAX: (092)741-0688

H P: <http://koran.jp/>



香蘭女子短期大学附属 香蘭幼稚園

〒811-1311 福岡市南区横手1丁目12番35号

園長 坂 根 康 秀

定員: 300名 3年保育 2歳児・満3歳児保育 預り保育あり

電 話: (092)571-3441 FAX: (092)513-1813

H P: <http://kourankid.com/>



幼保連携型認定こども園(平成30年4月より移行)
香蘭女子短期大学附属 那珂川第一幼稚園

〒811-1251 那珂川市松木5丁目1番1号

園長 柳 幸 子

定員: 225名 幼稚園部(1号)・保育園部(2号・3号)

電 話: (092)953-1135 FAX: (092)953-3848

H P: <http://www.nakagawadai1.com>



香蘭女子短期大学附属 那珂川第二幼稚園

〒811-1252 那珂川市五郎丸3丁目17番1号

園長 峯 田 功 子

定員: 240名 3年保育 預かり保育あり

電 話: (092)953-0222 FAX: (092)953-0222

H P: <http://www.nakagawadai2.com>

(姉妹法人設置保育園)



社会福祉法人 香蘭育成会 しおばる保育園

〒815-0032 福岡市南区塩原3丁目26番19号

理事長 坂 根 康 秀

園 長 長谷川 明 美

定員 120名

電 話: (092)554-1188 FAX: (092)554-1288

H P: <http://www.shiobaruhoikuen.com>

建学の精神

「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、
人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

学園沿革

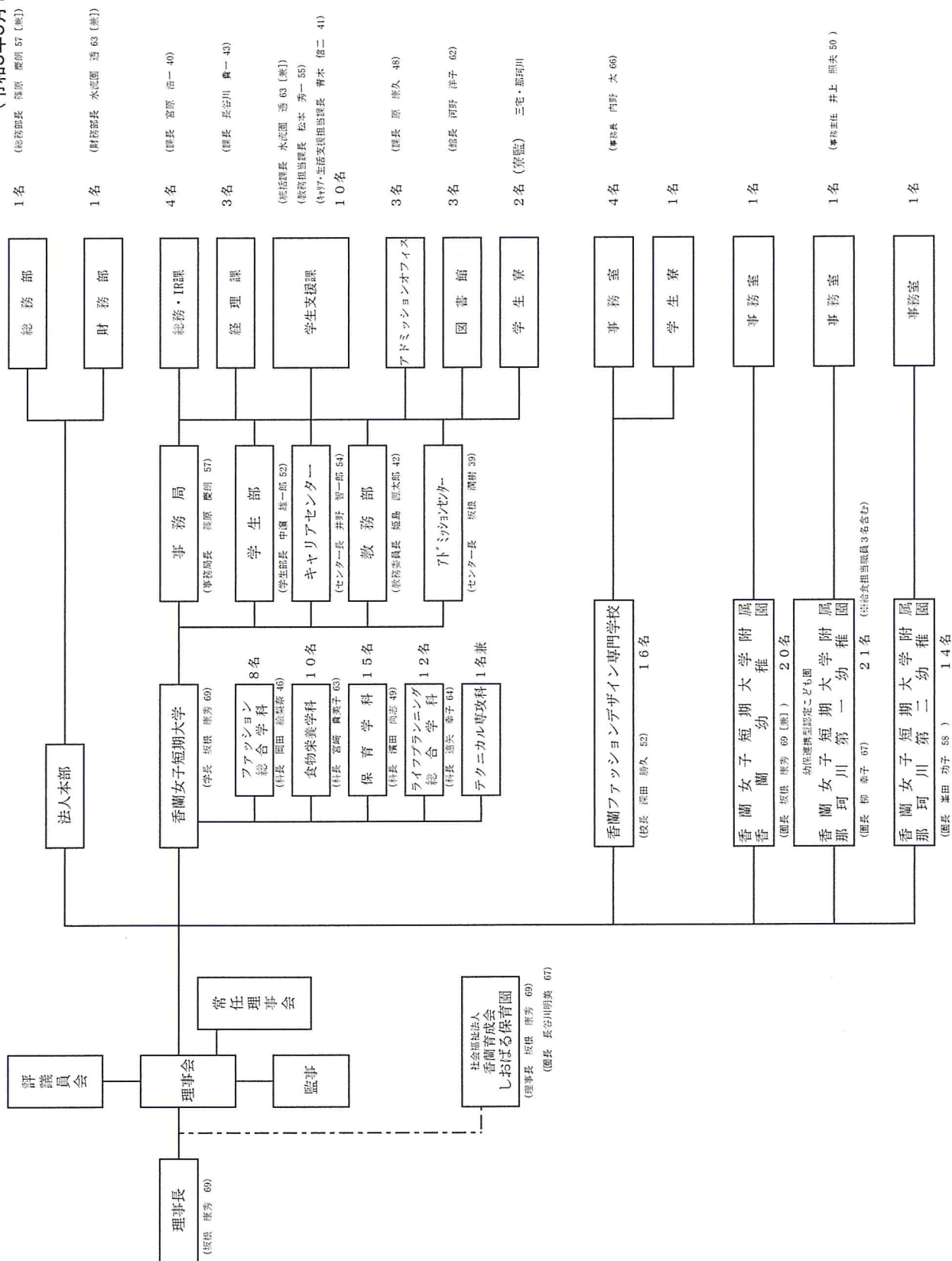
- 昭和 10年 5月 レディース香蘭女学院開学
- 21年 9月 香蘭女学院設立認可(個人立)
- 26年 3月 財団法人レディース香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
- 33年 1月 学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
- 36年 8月 創設者 山内良子逝去
- 38年 4月 短期大学に家政科増設(井尻校舎)
- 40年 4月 短期大学に保育科増設(井尻校舎)、被服科二部増設(大手門校舎)
- 42年 4月 短期大学附属幼稚園(現香蘭幼稚園)開園
- 47年 4月 被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
- 50年10月 被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
- 51年 9月 香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
- 58年 4月 短期大学に秘書科増設
- 62年 4月 短期大学に国際教養科増設
- 63年12月 学)啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
- 平成 元年 4月 香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
- 10年 8月 専門学校の高等課程を廃止
- 11年 4月 香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
- 15年 4月 家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
- 〃 被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
- 〃 短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
- 16年 3月 秘書科、国際教養科廃止
- 17年 4月 那珂川第一幼稚園 園舎移転(王塚台から松木)
- 18年 4月 附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
- 20年 4月 短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
- 21年 4月 専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
- 22年 4月 短期大学にテクニカル専攻科(1年)を設置
- 26年 4月 専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
- 30年 4月 那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行

歴代理事長

初代	山内良子	昭和33年 1月 ~ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ~ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ~ 昭和53年 3月
第四代	坂根 潔	昭和53年 4月 ~ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ~ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ~ 現在

法人の組織機構図

(令和5年5月1日現在)



役員・評議員

■名簿

令和5年度

区 分	常勤 非常勤	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	選任条項
理事長	常勤	坂 根 康 秀	平成6年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	一 学長
理 事 (定数7)	常勤 副理事長	坂 根 潤 樹	平成30年4月1日		二 評議員会互選
	常勤	水流園 透	平成30年4月1日		三 法人職員・財務部長
	常勤	篠 原 慶 朗	平成30年4月1日		三 法人職員・総務部長
	非常勤	海江田 令 次	平成22年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成26年4月1日		四 功労者・学識経験者
	非常勤	安 田 聡 剛	平成30年4月1日		四 功労者・学識経験者
監 事 (定数2)	非常勤	武 部 道 孝	平成18年4月1日	R4. 4. 1～R8. 3. 31	理事会選任
	非常勤	矢ノ浦 慎 祐	令和4年4月1日		理事会選任
評議員 (定数17)	常勤	坂 根 康 秀	平成2年4月1日	R4. 4. 1～R6. 3. 31	一 香蘭女子短期大学長
	常勤	深 田 勝 久	平成22年4月1日		二 香蘭FD専門学校校長
	常勤	峯 田 功 子	平成24年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	柳 幸 子	令和2年4月1日		三 附属幼稚園長
	常勤	坂 根 潤 樹	平成26年4月1日		四 後継者
	非常勤	牧 山 順 子	令和2年4月1日		五 卒業生
	非常勤	的 野 秀 子	平成22年4月1日		五 卒業生
	非常勤	中 富 美穂子	平成14年4月1日		五 卒業生
	常勤	遠 矢 幸 子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	宮 崎 貴美子	令和4年4月1日		六 法人職員
	常勤	溝 口 希弥子	平成17年4月1日		六 法人職員
	非常勤	永 野 雅 一	令和2年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	河 野 博 行	平成29年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	豊 崎 俊 幸	令和4年6月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	船 越 俊 秀	平成24年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	秋 峯 良 二	平成28年4月1日		七 功労者・学識経験者
	非常勤	森 永 哲 二	平成30年4月1日		七 功労者・学識経験者

■役員賠償責任保険契約等の状況

以下のとおりの内容で令和5年7月より契約（令和5年5月の理事会・評議員会にて決定）

①保険契約について

対象：理事、監事、評議員

契約の期間：令和5年7月1日～令和6年7月1日（※更新予定）

商品名：学校法人向け役員賠償責任保険（日本私立短期大学協会：三井住友海上火災保険㈱）

保険料：年間180,000円 保険金：上限：100,000,000円

内容：理事、監事、評議員を被保険者とし、保険料は全額法人が負担。被保険者が
その職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金
及び争訟費用等が当該保険にて補填される。

②責任免除・責任限定契約、補償契約について

責任免除：学校法人山内学園寄附行為第49条に基づく。

責任限定契約：非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、
本法人があらかじめ定めた額と私立学校法で準用する一般社団法人及び
一般財団法人に関する法律の規定に基づく最低責任限度額のいずれか
高い額を限度とする。

補償契約：本法人と役員の間においての補償契約の締結はない。

学生・園児数現員

① 学生生徒現員 ※専攻科学生数は外数、留学生は内数 (R5年5月1日現在:学校基本調査より)

学 校 名 ・ 学 科 課 程 名			令和4年度		令和5年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学	F A 総合学科	80	84	147	76	162	△ 8	15
	食物栄養学科	80	40	99	39	83	△ 1	△ 16
	保 育 学 科	150	66	170	67	132	1	△ 38
	L P 総合学科	150	137	269	138	277	1	8
	合 計	460	327	685	320	654	△ 7	△ 31
	定員充足率		71.1%	74.5%	69.6%	71.1%	-	-
	テクニカル専攻科	15	13	13	10	10	△ 3	△ 3
専門学校	留学生(短期含む)		31	65	20	51	△ 11	△ 14
	合 計	160	132	288	123	279	△ 9	△ 9
	(男 子)		30	72	41	77	11	5
香 蘭 幼稚園	[留学生]		1	1	0	1	△ 1	0
	満3歳児未満		16	20	15	17	△ 1	△ 3
	3 歳 児	100	37	77	57	97	20	20
	4 歳 児	100	2	102	5	81	3	△ 21
	5 歳 児	100	2	90	2	101	0	11
	合 計	300	57	289	79	296	22	7
第一幼稚園 (認定こども園)	1号	3歳児未満	15	14	15	10	△ 4	△ 5
		3 歳 児	45	27	41	17	△ 10	△ 10
		4 歳 児	45	0	35	2	2	9
		5 歳 児	45	1	41	2	1	△ 5
	2号	3 歳 児	15	1	15	3	2	3
		4 歳 児	15	0	21	0	0	△ 5
		5 歳 児	15	0	18	0	0	4
	3号	0 歳 児	6	4	4	6	2	2
		1 歳 児	9	2	11	3	1	1
		2 歳 児	15	4	15	4	0	1
	合 計	225	53	216	47	211	△ 6	△ 5
第二幼稚園	3 歳 児	60	61	61	50	50	△ 11	△ 11
	4 歳 児	90	1	62	3	63	2	1
	5 歳 児	90	0	93	2	63	2	△ 30
	合 計	240	62	216	55	176	△ 7	△ 40
総 合 計		1,385	631	1,694	624	1,616	△ 7	△ 78

②専任教職員数

※香蘭幼稚園の未満児及び第一幼稚園の1号未満児は学校基本調査の数とは異なる。

所 属	令和4年度			令和5年度			増減	備考
	教員数	職員数	合 計	教員数	職員数	合計		
短 期 大 学	42	26	68	45	27	72	4	寮監及び子どもブラザ職員2名含む
専 門 学 校	16	5	21	16	5	21	0	寮監含む
香 蘭 幼 稚 園	17	1	18	19	1	20	2	園長除く
第 一 幼 稚 園	18	4	22	18	4	22	0	
第 二 幼 稚 園	19	1	20	14	1	15	△ 5	
総 合 計	112	37	149	112	38	150	1	

③しおばる保育園

※子ともブラザ職員含む(R5年度)

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	園児合計	教職員 (内パート)
令和4年度	120	16	23	25	24	25	25	138	33(15)
令和5年度		14	23	25	25	24	24	135	42(21)

R5年度 事業の概要

1/3

◆短期大学

事業項目	
① 私立大学等経常費補助「特別補助」増額のための各種事業応募	改革総合支援事業「タイプ1:『Society5.0』の実現に向けた特色ある教育の展開」に応募したが、不採択となった。
② 海外研修の継続実施	LP学科(韓国)は実施。姉妹校である釜山保健大学校訪問、現地大学生(白石芸術大学)とのソウル市内グループ研修などを行い、異文化交流を図った。FA学科(イタリア)、食栄(韓国)は、最小催行人数に到達せず、中止となった。
③ 「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケートの継続実施。
④ 地域連携センターの活動継続・推進	地域との連携・貢献活動として南区こども大学・南区出前講座大学版、その他一般、高校生等向けの出前講座を実施。コロナの影響はほぼなくなり、令和5年度は90講座超を実施した。令和4年度は60講座程でコロナ前の水準にほぼ戻っていたが、コロナ前を大幅に上回る講座が開講できた。これとは別に子どもプラザでも17講座開講した。
⑤ 教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万円。本学学生への教育改革(4領域)に対し経費を支出。令和5年度は以下の2件を採択。中濱教授申請分:Koran Girlsを主体とした(地域・企業他)連携事業の継続発展・新規実施Ⅱ、濱田教授他申請分:保育学科学生的那珂川市子育て支援事業参加。
⑥ 「アクティブ香蘭」の募集継続	学生の積極的な活動を応援するため、その活動に必要な資金を援助する制度の継続。令和5年度は2件(食物栄養学科学生による「子ども食堂の運営と食育活動」・「子どもの食事マナーを育む～食事時間を楽しもう～」)が採択された。
⑦ KORAN REDWEEKの実施	令和3年度より始まった短大のスクールカーラーの認知度を向上させる取組の継続。令和5年5月22日から5月26日に実施され、レッドコーデの日、食堂とのコラボ、インスタスポット設置などの学科による様々な企画が行われた。
⑧ 授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員を顕彰する事業の継続実施。
⑨ 公開授業の継続	専任・非常勤教員の授業公開。令和3年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送ったが令和4年度より再開した。
⑩ インターンシップの新規事業開始	例年、春季・夏季・後期に分け説明会を行い、学生の希望企業(分野)とのマッチングを行い実施。コロナウイルスの影響もほぼなくなり、企業も積極的に受け入れを行っている。
⑪ 留学生の計画的受け入れの継続	コロナのため留学生の日本語学校への入学者が激減した影響が残り、令和5年度についても前年度に引き続き目標の入学者数を達成できなかった。令和6年度入学者は回復を見込んでいる。
⑫ 釜山保健大学校(旧:東洲大学)の留学生受け入れ再開	コロナ禍で令和2年度から中止していた姉妹校からの留学生受け入れを再開。令和5年度は6名を受け入れた。
⑬ 高大連携事業の継続	博多工業高等学校、香椎高等学校との高大連携事業の継続実施。
⑭ 高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度より運用開始。授業料減免と給付型奨学金の支給がセットで行われる。令和5年度は第1～第3区分の合計対象者が前期121名、後期116名と前年度前期139名、後期124名から減少した。利用者の割合は令和4年度は23.3%であったが、令和5年度は19%台に減少している。学生数の減少もあり利用者数は減少傾向である。
⑮ 自己点検評価の実施	相互評価の実施を計画し、相互評価の対象校としていくつかの短期大学に打診したが、成立せず見送りとなった。

R5年度 事業の概要

◆短期大学(続き)

2/3

事業項目	事業の概要
⑯ 南区子どもプラザの運営継続	福岡市から委託された南区子どもプラザ(南市民センター内:こうらん子どもプラザ)の委託運営の継続。
⑰ 7・8号館の外壁及びトイレ改修工事	令和4年度末に工事を完了予定にしていたが、工期が不足したため、令和5年度も事業継続。令和5年5月に工事を完了した。
⑱ 全館LED化工事	1・3・7・8号館及び体育館・附属棟の照明をすべてLED照明に改修。消費電力の3割程度の削減に成功している。
⑲ 機械警備の導入	全館機械警備(防犯カメラ、防犯センサー)及び本館1階事務局電子錠の導入を令和5年10月より設置・稼働。
⑳ 3号館エレベーター改修工事	3号館エレベーター(2基)のリニューアル工事を令和6年2月に完了。

◆専門学校

事業項目	事業の概要
① 夏季クリエイション・ショーの開催	体験入学・学校説明会に合わせて、7月23日にアーカイブファッションショーを学内で実施した。〔KORAN COLLECTION〕
② 卒業記念展・進級作品展の開催	2/23に福岡ファッションビルにて卒業記念展を開催。今年度は観客を入れ、学科により前半と後半の2回に分け入れ替え制で実施、同時にライブ配信も行った。3/16に進級作品展を学内で実施。同日に保護者会も行った。
③ キャリアガイダンスの実施(アパレル企業説明会の開催)	全学生を対象とした合同企業説明会を4月26日に実施。今年度は販売系、技術系合わせて36の企業に参加いただいた。また、年間を通して定期的に就職セミナーを実施し、学生の就職意識向上を図った。
④ 各科学外研修及び、海外研修	4年ぶりに海外研修(フランス・パリ)を12月に実施。37名が参加した。フランスのAICP校で学生間交流などファッションの本場パリの街で様々なファッションに触れることで感性の向上を促すことができた。
⑤ 各種イベント・企画への参加	ファッションマンス、博多どんたくなど各種ショーへ参加した。地場行政活動やその他企業からのイベントの誘致にフレキシブルに対応していく形を取り、久留米餅、手づくりフェア、ECOファッション、障がい者週間ファッションショー、福岡天神Beauty Collection、東京NewEnergyなどに参加し、学校名、学生作品の露出に努めた。
⑥ 積極的に全国規模コンテストにエントリー	文化服装学院連鎖校協会ファッションデザイン画コンクール表彰「準グランプリ・織研新聞社賞・文化学園文化出版局長賞」、他4名が佳作に入賞。日暮里デザインコンテスト「株式会社nuiya design賞」受賞。株式会社BOOK OFF主催 Re Clothes CUP「4点本選出場の結果販売部門で入賞」。YKKファスニングアワード2名本選出場。全国服飾学校第39回ファッション画コンクール「文部科学省総合教育政策局長賞」「アパレル・ファッション産業協会理事長賞」、他。
⑦ ファッション業界トレンドセミナー実施	WWDトレンドセミナー(5月・12月)、服(副)資材セミナー(5月)、装苑編集長:児島氏、スタイリスト:相澤氏、アンリアルレイジデザイナー:森永氏の特別講義(10月)などを実施した。
⑧ 同窓会・校友会の発展	同窓会総会を5月に4年ぶりに対面で実施。校友会は学生自身が組織の運営を通して社会を学べる機会であり、主に文化祭の実行委員会がその主たる目的だが、学校の広報にも積極的に携わるように全体運営を見直す準備をしている。
⑨ CADの入れ替え・更新	新学期開始前にCAD室の機器・ソフトの更新を完了。
⑩ 3DCADの導入	これからのファッション業界で必要とされつつある、3D CAD(CLO)の基礎知識、及びオペレーターの育成のため、3DCADを数台導入した。令和6年度に本格導入を計画している。

R5年度 事業の概要

◆専門学校(続き)

3/3

事業項目	事業の概要
⑪ 夏期講習会の実施	夏期講習会を4年ぶりに対面で8月に実施。ファッションイラストと技術講習として胸グセダーツの移動、3D CAD講習会を実施。
⑫ 高等教育修学支援新制度の運用継続	令和2年度から運用された制度を継続して実施した。

◆附属幼稚園

事業項目	事業の概要
① 処遇改善手当の支給	計画通り、月額10,000円～12,000円程度の処遇改善手当を教諭、保育教諭に支給した。
② 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業及び教育支援体制整備費補助金(幼稚園の教育体制支援事業)にかかる新たな処遇改善の実施	計画通り、月額9,000円～11,000円程度の手当を①の処遇改善に加え教諭、保育教諭に特例改善手当として支給した。
③ 那珂川第二幼稚園の施設型給付園への移行諸作業の実施	申請等の手続きが完了し、令和6年4月より施設型給付園として運営を開始した。令和5年8月に1階の保育室・廊下の一部及び園児用トイレのリニューアル工事を行った。
④ 各種研修会への参加	しおばる保育園を含めた4園合同研修会を7月に実施。各種団体が主催する研修へは、適宜参加した。
⑤ 任意参加の園児向け各種教室の実施	スポーツ(体操、水泳)、英会話教室等の園児向けのプログラムを継続し実施。
⑥ 那珂川第一幼稚園 通園バスの買い替え	計画通り、3号車の老朽化による新車への買い替えを行った。
⑦ 那珂川第一幼稚園 園児用トイレの増設工事	保育園3号児の受け入れに柔軟に対応するためには、使用教室の入れ替えが不可欠なため、入れ替えにいつでも対応できるように園児用トイレを1階に増設した。
⑧ 那珂川第一・第二幼稚園 LED化工事	計画通り、第一・第二幼稚園の保育室・お遊戯室・職員室等の照明のLED化工事を実施した。
⑨ 園児送迎バスへの置き去り防止装置の装着	3園すべての園児送迎バスに置き去り防止装置の装着が完了した。

◆法人本部

事業項目	事業の概要
① 私立学校法改正に向けた準備	私立学校法改正「2025(令和7)年4月施行予定」に向けて理事会・評議員会にて、寄附行為の改正箇所及び要点の説明を行った。
② 中長期計画等の周知	令和3年度に策定した中長期計画(5年間)の周知の一環として財務関係の現状把握に関する研修会をFDSD研修会時にあわせて実施した。
③ 役員賠償責任保険への加入	改正私立学校法(令和2年)に基づく役員の学校法人に対する責任(善管注意義務等)負担が明確になったことに対し、訴訟・賠償リスクへの備えのため、令和3年7月に加入した保険の継続加入を行った。今回は賠償額の上限を3億円から1億円に引き下げたプランに加入した。

★香蘭女子短期大学

【ファッション総合学科卒業制作展の実施】

例年通り、天神ソラリアプラザ1F「ゼファ」において、令和6年2月9日～12日の4日間、卒業制作展を開催した。本年度のテーマは「ファッションが結ぶ未来」。学生は、福岡の企業や行政、演劇、ヨーロッパの伝統手芸・文化芸術など新しい世界と結びつくための研究を重ね、その成果をファッションの可能性として表現した。最終日のショーでは九州龍谷短期大学表現学科の学生が本学学生が制作した衣裳をまとい演劇を披露するコラボレーションも行われた。4日間を通して、多くの方に来場いただいた。



★香蘭ファッションデザイン専門学校

【卒業記念展の開催】

令和6年2月23日に福岡ファッションビルにて卒業記念展を開催。「SPARK」というテーマで2回のファッションショーを実施。多くの観客にご来場いただいた。あわせてライブ配信も行った。



香蘭女子短期大学の教育活動

①香蘭女子短期大学 3 つのポリシー

【学位授与の方針（ディプロマポリシー）】

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）】

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

【入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー）】

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。

《学科の教育目的・目標、3つのポリシー》

■ファッション総合学科

【教育目的・目標】

- ファッション業界で活躍できる技術力を養う。
- 総合的なファッション知識を深める。
- ファッション教育を通して人間力を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 入学後の就学に必要な基礎学力を有している人
- 2 自らの感性と、その技術を高める意欲のある人
- 3 服飾造形やファッションビジネスに関心があり、ファッションのことをもっと広く・深く学び、その知識や技術を社会や産業界で活かしたいと考えている人
- 4 何事もあきらめずに努力し、自己の可能性に挑戦する意欲のある人
- 5 地域社会とのかかわりに積極的に参加し取り組むことができる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

1 知識、理解

- ①一般教養と服飾および服飾文化に関する総合的な知識を身につけている。
- ②ファッション業界で活躍できる専門知識を身につけている。
- ③服の構造を理解し、被服製作に必要な基礎知識を身につけている。

2 技能、表現

- ①ファッション造形に必要な企画力、設計力、縫製力を修得している。
- ②ファッション業界の多様化とグローバル化に対応できるデザイン力とIT技術を身につけている。

③修得した知識や技術を総合的に活用することができる。

3 人間力、態度

①専門教育、学外授業、学科イベント、地域総合科学科としての地域交流等を通して培われた人間力（社会人になるためのマナー、コミュニケーション能力、忍耐力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を有している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

1 共通基礎教育

①豊かな人間形成のための基礎力と基礎的な学力を身につけるための科目を全学期（1期～8期）で開講し、専門科目とのバランスを図る。

②初年次教育として1、2期では、2年間の目標と計画を立て、短期大学での学習方法やレポートの書き方を学ぶ。また、チームワークや教員とのコミュニケーションを図る。

2 専門教育

①ファッションの職種の広がりに対応するために、4つのフィールド（デザイン、ファッション造形、ファッションビジネス、生活スタイリング）の中から、将来のなりたい職種に必要な科目をそれぞれ選択できる。

②多様な職種にも対応できる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を身につける。

③アパレルメーカーで必要な実践的能力を身につける。

④学生が自主的に学ぶ科目として「特別演習」を設ける。

⑤専門的な知識と技術を身につけ、2年間の学びの集大成となる卒業制作または卒業論文を完成させる。

3 キャリア教育

入学後の早い時期から最終期（2期～8期）まで現場で学ぶインターンシップを経験させるとともに、「総合演習」の中で学科独自の就職支援講座を充実させ、就労意識を高めるための体系的なキャリア教育を行う。

■食物栄養学科

【教育目的・目標】

□栄養士が果たすべき専門職務や立場を十分に理解させる。

□栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を養う。

□栄養の指導や給食の運営を行うために必要な実践的能力を養う。

□食と健康の専門科目の学習を通して、自活力や生活力を兼ね備えた社会に貢献できる教養ある人を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

1 栄養士の仕事を通して社会に貢献したい人

2 「食」に興味があり、栄養士の仕事との関わり合いが深い食生活の改善や健康・増進と、併せ調理技術向上を目指したい人

3 現実社会で生き抜くための基礎的なマナーが身についており、規則正しいライフスタイルが確立されている人

- 4 食生活の偏りに起因する生活習慣病に対して、栄養士として問題を積極的に解決しようとする志を抱いている人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 栄養と健康の関係、栄養素と食品の関係、食の安全、食料資源の確保、食料を食べ物に変える加工（調理を含む）および貯蔵の原理・技能、食生活の歴史などに関する知識と理解によって、望ましい食生活の実践につながる視点で説明することができる。
- 2 栄養に関する知識を持ち、食事管理や食事指導に携わることのできる能力およびマナーやコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が身についている。
- 3 食・栄養・健康に関する実践的・体験的な学習をすることで、栄養士としての知識を具現化する技術を身につけ、体験を通して生活の場での実践意欲を持つことができる。
- 4 現実社会の各種の多様な情報を客観的に理解し、適切に判断することができるとともに、情報ツールを使いこなして食事管理や食事指導に有効に活用することができる。
- 5 社会人として、いかなる困難に直面しても創意・工夫を大切にし、人を愛し、人から愛される自立した女性としての立ち振る舞いができる。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育は、総合演習およびキャリアアップセミナーにおいて、食物栄養学科学生として学生生活を有意義に過ごすための必要不可欠な基礎的知識を身につける。
- 2 栄養士に必要な専門科目の学習を通して、知識・技能・態度と、併せて調理技術向上を目指した基礎的な能力を身につける。
- 3 栄養指導や給食の運営を行うために必要な実践的・体験的な学習を通して、栄養士としての実践的能力を身につける。
- 4 栄養と食に関する様々な専門知識を広く家族・地域・社会に伝え、食生活の改善に貢献できる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。
- 5 本学の教育理念を踏まえて、常に栄養士としてのプロ意識を保持しつつ、日々自分自身がスキルアップできる学生を、栄養士法施行規則にのっとり育てる。

■保育学科

【教育目的・目標】

3つの心を育む。

□自己の成長を願う心。□他者の成長を喜ぶ心。□社会の役に立つことを願う心。

4つの感性を涵養する。

□学びの感性＝学びに対する意欲を持つ。□交流の感性＝積極的に人と交流できる力を持つ。

□情報の感性＝必要な情報を収集できる力を持つ。□仕事の感性＝仕事への情熱と誇りを持つ。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 子どもが育つことに関心を持っている人
- 2 さまざまなことに率先して取り組むことができる積極的な構えを持っている人
- 3 保育者としての信念と誇りを持てる人
- 4 自分を大切に生き生きと行動できる人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 さまざまな保育現場において実践家として活躍できる保育者
- 2 そのために必要な専門的な知識・技能と、それを支える基礎となる「保育者としてふさわしい人間性」を持った保育者

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 専門教育保育者として必要な専門性を身につけるため、カリキュラムは「理論」「実技・技能」「演習」の3本柱とし、これらをバランスよく往還的に学んでいく。実践家として活躍できる力を身につけるため、あそびと教材研究等を学び、「実習」「保育・教職実践演習（幼稚園）」において総合的に学ぶ。
- 2 教養教育自らの関心や特性をもとに科目を履修し、保育者としてのさらなる成長に必要な教養を身につけ深めていく。
- 3 初年次教育主体的に学ぶ姿勢を身につけるため、オリエンテーションならびに総合演習において、短期大学における学習のあり方と心構えについて学ぶ。保育者を目指すクラスメートと共に学ぶ風土を形成し、保育士資格・幼稚園教諭免許の2つの資格免許取得を目標とする心構えを持つ。
- 4 キャリア教育オリエンテーションならびに総合演習において、学年集会やクラスミーティング、OG懇談会、自主実習等を通し、社会人としての心構えや基本マナー、保育現場の実際、専門就職の方法について学ぶ。アドバイザーを始めとする学科教職員とのキャリア指導の中で具体的な学びを行う。
- 5 教科外学習社会人として必要なコミュニケーション力、組織におけるリーダーシップ・フォロワーシップ、現場における協働力を身につけるべく、学校・学科行事、サークル活動を体験する。
- 6 学園生活毎日の授業や学生生活の中で、教員やクラスメートとの交流を通し、「保育者としてふさわしい人間性」を身につける。

■ライフプランニング総合学科

【教育目的・目標】

- 自己をよりよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。
- 地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技能を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。
- 多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。

【入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- 1 本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人
- 2 学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人
- 3 選んだ専攻で専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人
- 4 多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

- 1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。

- 2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
- 3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
- 4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる。
- 5 生涯学習に資する習慣を確立している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 1 初年次教育の一環として、基礎科目・総合演習において、本学の仕組み、学習方法、資料調査方法、チームでの作業などを学ぶ。
- 2 選択したメジャーにおいて、専門的な知識や技能を学ぶ。
- 3 情報リテラシーとメディアリテラシーで、ITの知識と技能及びプレゼンテーションの方法を学ぶ。
- 4 地域での活動、就業体験、短期留学、検定取得などができるように学期を配置している。
- 5 基礎科目・総合演習や学科行事において、キャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。
- 6 多くの教養科目や選択科目を学ぶことができる。
- 7 学生が主体的に関わる授業を行う。

②ディプロマ・ポリシーのアセスメント

■令和5年度卒業者

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	84	73	72	98.6%
食物栄養	40	40	40	100.0%
保 育	66	59	56	94.9%
ライフ・ランニング総合	140(31)	128(29)	125(28)	97.7%
合計	330(31)	300(29)	293(28)	97.7%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	40名中39名	97.5%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	58名中55名	94.8%
保育士資格	59名中56名	94.9%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和4年度卒業者

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	61(5)	56(5)	54(5)	96.4%
食物栄養	59	58	54	93.1%
保 育	105	95	91	95.8%
ライフ・ランニング総合	131(25)	121(20)	119(20)	98.3%
合計	356(30)	330(25)	318(25)	96.4%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	58名中51名	87.9%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	88名中85名	96.6%
保育士資格	95名中91名	95.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和3年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	73(8)	72(7)	67(3)	93.1%
食物栄養	59	57	56	98.2%
保 育	128	114	114	100.0%
ライフプランニング総合	150(30)	140(25)	138(24)	98.6%
合計	410(38)	383(32)	375(27)	97.9%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	57名中54名	94.7%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	109名中105名	96.3%
保育士資格	112名中107名	95.5%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

■令和2年度卒業生

※（ ）は留学生、内数

学科名	入学者	卒認対象者	卒業者	卒業率
ファッション総合	84(11)	73(8)	67(6)	91.8%
食物栄養	57	53	52	98.1%
保 育	148	143	141	98.6%
ライフプランニング総合	154(41)	140(40)	134(37)	95.7%
合計	443(52)	409(48)	394(43)	96.3%

【免許・資格取得率】

○食物栄養学科

名称	取得者数	取得率
栄養士免許	53名中52名	98.1%

○保育学科

名称	取得者数	取得率
幼稚園教諭免許	136名中133名	97.8%
保育士資格	139名中136名	97.8%

※幼稚園教諭免許・保育士資格は取得希望者に対しての数（率）

③学校生活満足度調査 結果

1/2

◇調査の概要

- ・以下、8つの項目に対しての5段階評価(5高⇒1低)の平均値を記載。

◇調査数

- ・令和5年度は卒業生数318名、回答者295名、回答率93%。(※Web調査)
- ・令和4年度は卒業生数318名、回答者275名、回答率87%。(※Web調査)
- ・令和3年度は卒業生数375名、回答者259名、回答率69%。(※Web調査)

1. あなたが2年間で受講した授業の内容についての満足度はどうでしたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.06	3.74	3.86
食物栄養	4.05	4.15	3.70
保 育	3.65	3.89	3.48
ライフプランニング総合	4.11	4.19	3.71
全平均	4.01	4.02	3.67

※全体の平均は昨年度と同じだが、保育学科は特に改善が求められる。

2. 本学で友だちの関係についてはどうでしたか。友だちに恵まれましたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.54	4.36	4.60
食物栄養	4.42	4.19	4.74
保 育	4.21	4.14	4.34
ライフプランニング総合	4.22	4.34	3.77
全平均	4.35	4.25	4.26

※全学科4点台となったが、一部友人関係がうまく築けない学生がいる。

3. あなたが接した先生方は親切・親身になってくれましたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.06	3.77	4.16
食物栄養	4.28	4.31	4.24
保 育	4.09	4.03	3.69
ライフプランニング総合	4.29	4.23	4.05
全平均	4.20	4.11	4.01

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

4. あなたが接した事務職員は親切に対応してくれましたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.15	3.53	3.96
食物栄養	4.00	4.11	4.07
保 育	4.02	4.00	3.54
ライフプランニング総合	4.16	4.03	3.95
全平均	4.12	3.95	3.86

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

5. 本学の施設・設備は充実していましたか(教室、図書館、食堂、体育館や授業・実習で使用する機器等全体について教えてください)。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.10	3.79	4.12
食物栄養	4.23	4.19	4.04
保 育	4.02	3.86	3.70
ライフプランニング総合	4.26	3.97	4.04
全平均	4.18	3.95	3.97

※施設（特にトイレ）改修の結果が表れたと思われる。

6. 本学に入学して将来に生かせる力がつきましたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.18	3.85	4.20
食物栄養	4.35	4.19	4.15
保 育	4.19	4.23	4.03
ライフプランニング総合	4.17	4.24	3.89
全平均	4.22	4.16	4.03

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

7. 本学に入学して一人の人間として成長することができましたか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	4.21	3.91	4.20
食物栄養	4.35	4.31	4.24
保 育	4.21	3.99	3.93
ライフプランニング総合	4.24	4.34	3.93
全平均	4.26	4.16	4.04

※全学科4点台となり、経年変化も上昇傾向。

8. 学訓である「創意・自立・敬愛」が身についたと思いますか。

学 科 名	R5年度	R4年度	R3年度
ファッション総合	3.90	3.62	4.10
食物栄養	3.26	4.09	3.96
保 育	3.88	3.66	3.59
ライフプランニング総合	4.10	4.11	3.85
全平均	4.02	3.89	3.85

※全体の傾向は上昇傾向であるが、まだ改善の余地がある。

香蘭女子短期大学の研究活動

■香蘭女子短期大学 研究紀要

研究活動については下記アドレス先に掲載

<https://www.koran.ac.jp/about/disclosure/research.html>

令和5年度
地域連携取組状況 1

【概評】

新型コロナウイルスが5類に移行し影響がほぼなくなったことから、多くの講座を開講できた。
講座数はコロナ前の水準を上回っており、今後の更なる発展が期待される。

■南区こども大学

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
8月25日	テーブルランプを作ろう	135教室	LP	河野 洋子
8月10日	自分でデコろうエコバッグ	* 台風接近のため中止	FA	杉 森 孝
8月19日	オリジナル3DCGモデルを自分のカラダから発射しよう！	125室・161教室	LP	須 藤 信
8月25日	だしについて学ぼう	3号7F調理実習室・試食室(第二)	食栄	麻生 廣子

■南区出前講座(大学版)

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
6月7日	紋切り型であそぼう	宮竹公民館	LP	河野 洋子
6月17日	透ける紙のペーパークラフト② 紙でつくるスタンドグラス	宮竹公民館	LP	河野 洋子
6月23日	金融ジェントロジーことはじめ ～ハッピーマネーライフに向けて～	高宮駅前町内会	LP	中濱雄一郎
7月8日	微生物を使った発酵食品について	やにしすまいる:弥永西公民館	食栄	山口 孝治
7月15日	透ける紙のペーパークラフト② 紙でつくるスタンドグラス	鶴田公民館	LP	河野 洋子
7月22日	寝たきりを予防するための食事と栄養	三宅公民館	食栄	北原 勉
8月5日	紋切り型であそぼう	長丘公民館	LP	河野 洋子
8月26日	紋切り型であそぼう	やにしすまいる:弥永西公民館	LP	河野 洋子
9月7日	寝たきりを予防するための食事と栄養	筑紫丘1丁目シニアクラブ第四筑寿会	食栄	北原 勉
11月10日	寝たきりを予防するための食事と栄養	唐戸集会所	食栄	北原 勉
11月29日	透ける紙のペーパークラフト② 紙でつくるスタンドグラス	福岡市立南障がい者フレンドホーム	LP	河野 洋子
12月9日	透ける紙のペーパークラフト② 紙でつくるスタンドグラス	子どもの居場所やにしすまいる	LP	河野 洋子
12月10日	透ける紙のペーパークラフト① ランプシェードを作ろう	西高宮公民館	LP	河野 洋子
12月15日	ラッピング講座① 身近な素材でラッピング	つるた公民館	食栄	青木 友紀子
12月22日	透ける紙のペーパークラフト① ランプシェードを作ろう	日佐公民館	LP	河野 洋子
12月23日	透ける紙のペーパークラフト② 紙でつくるスタンドグラス	三宅公民館	LP	河野 洋子
2月3日	透ける紙のペーパークラフト① ランプシェードを作ろう	鶴田公民館	LP	河野 洋子
2月19日	寝たきりを予防するための食事と栄養	老司校区社会福祉協議会:老司公民館	食栄	北原 勉

■「子どもプラザ」での取り組み

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
月1回	発達相談・身体測定(第2金曜日に実施)	南区おおはし子どもプラザ	保育	濱田 尚志
5月19日	パネルシアターで遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	梅田 美穂
6月23日	からだ元気タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	中村 洋子
6月29日	びよびよ広場(ミトン人形づくり)	南区おおはし子どもプラザ	保育	相賀 貴子
7月20日	わらべ歌遊び、ふれあい遊び	南区おおはし子どもプラザ	保育	寺地 亜衣子
7月22日	パパのための子育て講座	南区おおはし子どもプラザ	保育	姫島 源太郎
8月23日	造形遊び(粘土)	南区おおはし子どもプラザ	保育	河野 博行
8月26日	夏祭り(1周年記念)	南区おおはし子どもプラザ	保育	濱田 尚志
9月21日	食育講座・相談	南区おおはし子どもプラザ	保育	山田 裕美子
10月20日	「製作遊び」 プラバン製作	南区おおはし子どもプラザ	保育	杉森 映徳
10月26日	ふれあい絵本タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	山田 裕美子
11月17日	パネルシアターで遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	梅田 美穂
12月21日	からだ元気タイム	南区おおはし子どもプラザ	保育	中村 洋子
12月23日	クリスマスカード作り	南区おおはし子どもプラザ	保育	河野 博行
1月24日	一緒に楽しむ紙芝居&節分あそび	南区おおはし子どもプラザ	保育	阿久根千賀子
2月21日	音で遊ぼう	南区おおはし子どもプラザ	保育	黒木 知美
3月12日	楽描き	南区おおはし子どもプラザ	保育	杉森 映徳

令和5年度
地域連携取組状況 2

■夏季公開講座(高等学校教員向け)

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
8月1日～ 8月21日	動画で学ぶパターン教室1「ラッフルスリーブのブラウス・ワンピース」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	FA	角谷 由加里
	動画で学ぶパターン教室2「ボリュームスリーブのブラウス・ワンピース」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	FA	角谷 由加里
	おさかなを食べてみよう フィッシュ&チップス	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	食栄	北原 勉
	金融教育:「消費・経済」及び「ライフプランニング」	香蘭女子短期大学(オンデマンド実施)	LP	中濱 雄一郎

■学内での講座

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
6月5日	九州産業大学付属九州高等学校対象模擬授業・施設見学	136教室	保育	濱田 尚志
9月14日	志免中学校「上級学校見学」(模擬授業・幼稚園見学等)	126教室他学食体験・施設見学等	FA	岡田 絵梨奈
9月14日	市民向け料理教室	3号8F調理実習室・試食室(第一)	保育	山田 裕美子
9月14日	市民向け料理教室	3号8F調理実習室・試食室(第一)	食栄	宮崎・青木
8月～11月 の4回	アクティブ香蘭「子ども食堂」の運営	学生食堂	食栄	宮崎 貴美子
10月15日、 11月12日	アクティブ香蘭「親子クッキング」の開催	3号8F調理実習室・試食室(第一)	食栄	青木 友紀子
10月17日	横手小学校ジョイント授業「ナップザックを作ろう」	154, 157教室	FA	斉藤 朋子
11月4、5日	農心ジャパン 辛ラーメン対ノグリラーメン 試食会	香蘭祭	LP	中濱 雄一郎
11月25日	横手カレー選手権	3号館8F調理室・試食室	食栄	北原 勉
2月22日	博多工業高校との高大連携事業 施設見学他	126教室	アドミッションオフィス	
年間10回	スペシャルオリンピックス 日本 福岡 ヤングアスリートプログラム	体育館リズム室	保育	中村 洋子

■高等学校向け出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
5月 2日	アパレル企業の商品企画のプロセスと方法について	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
5月18日	ファッションショーの企画と実施 / 大学・短大での学びについて	福岡女子高等学校	FA	岡田 絵梨奈
6月13日	栄養士の仕事(さんぽう)	糸島農業高等学校	食栄	麻生 廣子
6月20日	ファッションスタイリストの世界	杉森高等学校	FA	岡田 絵梨奈
7月 4日	アパレル企業の商品企画のプロセスと方法について	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
7月 4日	ファッション業界の魅力について	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
7月 6日	保育講義(栄美通信)	臼杵高等学校	保育	杉森 映徳
7月19日	「保育士・幼稚園教諭のちがいにについて」(昭栄広報)	福岡翔高等学校	保育	濱田 尚志
9月 6日	服飾・ファッション、生活・家政系について(JSコーポレーション)	精華女子高等学校	FA	角谷 由加里
9月14日	服飾(ファッション)について(チエルコミュニケーションブリッジ)	福岡海星女子学院高等学校	FA	岡田 絵梨奈
9月15日	ファッション業界について(ライセンスアカデミー)	東鷹高等学校	FA	岡田 絵梨奈
9/25他3回	色彩検定1級対策講座	香椎高等学校	FA	岡田 絵梨奈
10月20日	「ファッションデザイン」ファッション画による表現/着彩の方法	稲築志耕館高等学校	FA	彌永 裕子
10月25日	職業理解「保育士・幼稚園教諭」	宇美商業高等学校	保育	濱田 尚志
10月30日	模擬授業「調理・製菓」	八代白百合学園高等学校	食栄	北原 勉
12月7日	分野・職業理解ガイダンス「ファッション」(アドバンスクリエイト)	久留米学園高等学校	FA	角谷 由加里
12月7日	保育士・幼稚園教諭のちがいにについて(チエルコミュニケーションブリッジ)	柏陵高等学校	保育	寺地 亜衣子
12月20日	学問理解・職業理解「幼児教育・保育」(キッズコーポレーション)	福岡女子商業高等学校	保育	濱田 尚志
2月14日	保育・幼児教育について(チエルコミュニケーションブリッジ)	日田三隈高等学校	保育	溝田 めぐみ
2月15日	模擬授業「ファッションの仕事」(さんぽう)	太宰府高等学校	FA	岡田 絵梨奈
2月20日	模擬授業「ファッション業界の仕事を知る」(チエルコミュニケーションブリッジ)	純真高等学校	FA	高野 弓枝
2月26日	「ファッション業界の仕事と進路」(ライセンスアカデミー)	折尾高等学校	FA	岡田 絵梨奈
2月26日	学校別ガイダンス(ファッション分野)	飯塚高等学校	FA	斉藤 朋子
3月7日	分野・職業理解ガイダンス「ファッション」(アドバンスクリエイト)	誠修高等学校	FA	斉藤 朋子
3月7日	「ファッションの仕事と進路の選び方」(キッズコーポレーション)	佐賀清和高等学校	FA	岡田 絵梨奈
3月11日	系統別分科会「服飾」(ライセンスアカデミー)	福岡常葉高等学校	FA	角谷 由加里
3月18日	学問理解・職業理解「ホテル・ブライダル」(キッズコーポレーション)	高志館高等学校	LP	井野 智一郎

令和5年度
地域連携取組状況 3

■その他出前講義等

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
月2回	ソウタシエ(縁を装飾するコードで作るアクセサリ)講師	株式会社Dua主催 ワークショップ	FA	斉藤 朋子
5月17日	「保護者支援とは」	北九州市社会福祉研究所	保育	濱田 尚志
8月9日	給食施設における経営管理～給食マネジメントこそ栄養管理の礎	南薩地域給食施設連絡協議会	食栄	北原 勉
9月22日～12月23日	古着の回収ボックス設置	那珂川市連携事業	LP	中濱 雄一郎
10月7日	UNI-KORAN REUSE SHOP-「アナタの洋服を次の方へ」 Z世代に向けたリユースプロジェクト!	福岡天神パルコ7F	LP	中濱 雄一郎
10月7日		福岡女子商業高等学校	FA	尾畑 圭祐
11月4,5日			LP	中濱 雄一郎
10月8,9日	ふわもこミシンを使ったワークショップ及びファッションショー	福岡南市民センター	FA	岡田 絵梨奈
10月21日	アップサイクルクラフト「ハロウィーンの飾りを作ろう」	福岡南市民センター	LP	河野 洋子
10月24日	SDGsチャレンジプロジェクト最終発表会(3年生総合的な探究の時間)	福翔高等学校	食栄	青木 友紀子
10月24日	エコバッグの作成	横手環境活動委員会	LP	河野 洋子
10月26日	手芸講座「スマホポーチ」	高木校区 男女共同参画事業部	保育	相賀 貴子
11月15日	那珂川市保健所連盟職員研修「大量調理における子どもの食」	那珂川第一幼稚園遊戯室	食栄	宮崎 貴美子
12月8日	保育福祉科 表現技術発表会	福岡女子高等学校	保育	黒木 知美
12月13日	「ぬか床を作ろう～食で心と体の安定～」	那珂川第一幼稚園	食栄	宮崎 貴美子
1月11日	保育福祉科 課題研究発表会	福岡女子高等学校	保育	濱田 尚志
2月22日	SDGsチャレンジプロジェクト中間発表会(2年生総合的な探究の時間)	福翔高等学校	食栄	青木 友紀子
4/29,他4日	糸島ハンドメイドカーニバル	志摩中央公園プロムナード	LP	中濱 雄一郎
10月28, 29日	糸島ハンドメイドカーニバル	志摩中央公園プロムナード	LP	中濱 雄一郎
12月17日	クリスマスイベント	OHASHIはらっぱ(大橋駅東口広場)	LP	井野 智一郎
1月28日	Winter Market 学生自らが企画・準備・運営まで携わったイベント	OHASHIはらっぱ(大橋駅東口広場)	LP	井野 智一郎
2月25日	1日限りのレストラン スマソる! ? × るるるるキッチン	福津市 るるるるキッチン	食栄	北原 勉
3月16,17日	ABOUT LOVEFM FESTIVAL	福岡市役所西 ふれあい広場	食栄	麻生 廣子

■那珂川市との連携事業

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
6月25日	サンデーあそぼっ!	ふれあいこども館	保育	濱田・杉森・阿久根
11月12日	秋まつり	ふれあいこども館	保育	河野・杉森・阿久根
11月18日	第13回 裂田溝ライトアップ	ふれあいこども館	保育	濱田・学生

■シニアカレッジ

開催日	事業名・テーマ等	主催者・開催場所・地域等	担当者	
			所属	氏名
2月8日	寝たきりにならないための食事と栄養	381教室	食栄	北原 勉
2月15日	肉まんを作ろう! ～ヘルシー・美味しい肉まんの作り方～	8F調理実習室・試食室	食栄	青木 友紀子
2月22日	しっかり食べて認知症を予防しよう! ～何をどう食べると若返るの?～	381教室	食栄	宮崎 貴美子
2月29日	これは何の味? 自分の味覚をテストしてみよう	381教室	食栄	山口 孝治
3月7日	作り置きおかずのポイント(衛生的な保存方法について)	381教室	食栄	麻生 廣子

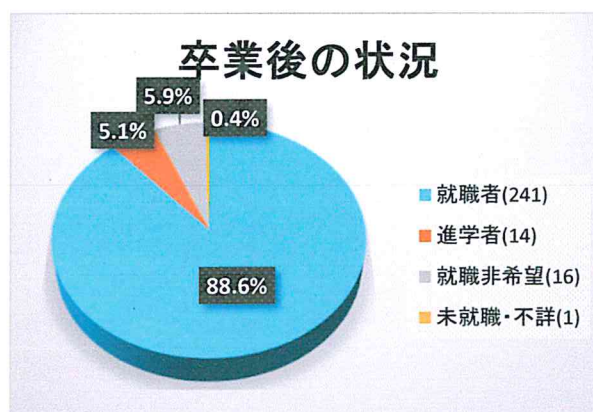
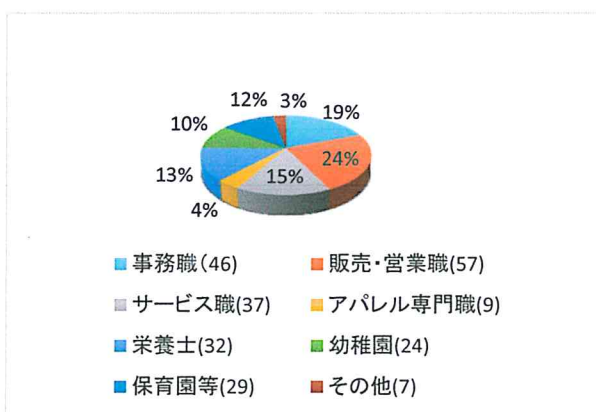
進路状況

短期大学

R5年度卒業生

R6年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル 専攻科
卒業生数 (留学生を除く)	73	43	58	98	272	10
就職希望者数	59	39	57	87	242	10
希望率%	80.8%	90.7%	98.3%	88.8%	90.0%	100.0%
就職決定者数	59	39	56	87	241	10
就職決定率%	100.0%	100.0%	98.2%	100.0%	99.6%	100.0%
進学者数	8	2	1	3	14	0
就職非希望者	6	2	0	8	16	0



専門学校

R5年度卒業生

R6年5月1日現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数 (留学生を除く)	27	15	36	21	99
就職希望者数	23	12	28	17	80
希望率%	85.2%	80.0%	77.8%	81.0%	81.0%
就職決定者数	21	12	28	17	78
就職決定率%	91.3%	100.0%	100.0%	100.0%	97.5%
進学者数	0	3	5	0	8
就職非希望者	4	0	3	4	11

■就職者の職種別割合

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス
デザイナー・企画 職・生産管理職	43%	50%	4%	—
縫製職 パターンナー、CADオペ レーター等	24%	17%	71%	—
販売職 ファッションアドバイ ザー等	19%	33%	18%	70%
営業職 アパレルメーカー営 業・企画等	—	—	—	12%
その他 EO職、フライタルコーデ ィネーター等	14%	—	7%	18%

人事について

<香蘭女子短期大学>

下記の表は令和 2 年度以降の短期大学教職員数である（※寮監 2 名を除く。講師欄に助教含む。）

年度	教員数				助手 副手	事務 職員	短大 合計
	教授	准教授	講師	計			
R 2 年度	16	12	7	35	12	24	71
R 3 年度	15	10	6	31	12	24	67
R 4 年度	11	10	9	30	12	24	66
R 5 年度	12	12	8	32	12	23	68
R 6 年度	12	14	6	32	10	23	65

教員については、令和 2 年度末に定年等で 7 名、令和 3 年度末に 6 名、令和 4 年度末に 0 名、令和 5 年度末に 1 名、4 年間で計 14 名が退職。退職に対しての教員の新規採用は、令和 3 年度に 2 名、令和 4 年度に 5 名、令和 5 年度に 2 名、令和 6 年度に 0 名の計 9 名に留めた。令和 6 年度に助手 1 名を助教に昇格させ、令和 6 年 4 月時点で 32 名となった。令和 2 年度時点で設けていた教員の削減目標は 31 名であり、1 名多い状況ではあるが、嘱託再雇用の教員を含めた人数となっているため、目標はほぼ達成できている。

助手（副手）については、令和 6 年 4 月時点で嘱託再雇用者を含め 10 名で令和 2 年度時点の削減目標 13 名を下まわっており、目標は達成できている。

コロナ禍で募集を行った令和 3 年度募集から、食物栄養、保育の入学生数が減少、定員充足率の低下が著しい状況となり、経常費補助金が減額、一部学科は不交付となる事態が発生している。ついては、令和 6 年度募集から食物栄養、保育、ライフプランニング総合の 3 学科の入学定員変更（減員）を行うこととしたが、令和 6 年度の食物栄養学科、保育学科の入学者は、定員の半分程度の入学に留まっている。食物栄養、保育の 2 学科については資格・免許に関わる教員の配置が求められるため、減員に応じ単純に教員の数を減らすことはできないが、令和 7 年度以降の教員の採用については、定年等の退職者が出た場合に補充の必要性を精査し、採用の有無を決定したい。また、助手（副手）の採用は原則として行っておらず、令和 6 年度は助手 1 名を事務局に異動させる人事を行った。入学者数の回復が見込めない場合は、今後も事務局への異動なども視野に入れ検討を行う。

職員については、原則、定年等退職者の発生に応じ新規採用を行っている。令和 5 年度末に総務・IR 課に定年退職者が発生したが、正職員は採用せず、パートを雇用することで対応した。また、学生募集を強化するためアドミッションオフィスの職員を 1 名増員したが、前述のとおり助手を異動させる形で増員した。よって、事務職員の令和 6 年度の人数は令和 5 年度と同数となっている。令和 2 年度時点で設けていた職員の削減目標は 23 名であり、目標は達成できている。今後も定年等の退職者が発生した場合、業務内容によっては専任の採用ではなく、学内での異動、派遣やパートの採用等、人件費を抑える採用方法を検討した上で採用活動を行う。

<香蘭ファッションデザイン専門学校>

令和3年度当初は、教員14名（校長1名、副校長1名を含む）、事務職員5名（寮監除く）であった。クラス担任制（9クラス）で運営しており、9名が担任となり、4名の副担任がクラス運営の補佐に当たっている。校長以外の教員は、担任または副担任の業務を行っており、人数的な余裕はほとんどない状況であった。令和3年度の入学生が前年度から大幅に増加したため、令和3年度中（8月）に教員1名を採用し、2学期より教員を15名体制とした。令和3年度末に教員3名が定年等で退職したが、うち1名は令和4年より嘱託再雇用したのに加え、新たに教員1名、教務系職員1名を採用した。また、事務主任と教員を兼務していた職員を主幹教員に配置し、令和4年度は教員を16名体制とした。事務職員は令和3年度は5名であったが、事務主任が配置換えになったことに伴い令和4年度は4名となった。令和4年度末に嘱託教員1名が退職したことに伴い、令和5年度に教員1名を採用した。

令和5年度末に教員1名（副校長）が定年退職、事務職員（事務長）が嘱託満了により退職したため、令和6年度に教員、事務職員をそれぞれ1名採用した。新たな副校長、事務長については現教職員から任命した。令和4年度より教員16名、事務職員4名の体制としているが、今後も現教職員数を維持することを基本とし、入学・在学者数に応じ、教職員数の増減を行うことを計画している。

<香蘭幼稚園>

令和3年度は、教員16名（園長除く）、職員1名であったが、令和4年度は教員を17名に増員した。また、令和5年度末で副園長の雇用契約が満了することを見据え、令和5年度はさらに2名増員し、19名体制とした。令和5年度末に教員の退職者が3名（副園長1名含む）あったが、令和6年度は入園児が減少したことから新規採用1名（中途採用）とし、退職した副園長の後任として、短期大学の保育学科講師1名を兼職として副園長に据えた。令和6年度は教員18名（園長除く、副園長含む）、事務職員1名体制としている。今後も当該年度の入園児数、在園児数に応じ、専任教員19名前後の体制を維持する。

令和3年度から5年度にかけ、送迎バス運転手3名のうち2名（パート）が退職。求人を出したが希望者が現れず、現在は人材派遣会社に運転業務を2名委託している。大型自動車免許所有者という括りがあるため、簡単には適任者を見つけられないことが今後も想定される。そのため、他園を含め、今後は運転業務のアウトソーシングが必須となる。また、令和6年4月時点で保育補助のパート職員として4名、事務補助のパート職員1名雇用している。今後、満3歳児（2歳児）の受け入れを増やすためには、パート職員の活用が重要になるが、近年、パートを含めた教職員の確保が難しい状態がある。病欠者の発生などを勘案すると、ゆとりのある教員数を確保し、不測の事態が発生した場合においても保育に支障のない体制を整えておく必要がある。人材派遣会社等の機関を上手く利用し、パートを含めた教職員の必要数をしっかり確保していきたい。

<那珂川第一幼稚園>

平成30年度より幼保連携型認定こども園に移行し、令和5年度で6年目を迎えた。令和5年度の教職員数は令和4年度同様、園長を含めた保育教諭が18名（うち嘱託3名）、給食（管理栄養士・栄養士）職員が3名、事務職員が1名となっている。幼稚園部（1号）と保育園部（2号・3号）があり、国が定めた人員配置に則った体制で運営している。令和5年度末に園長が定年により退職、また令和5年度途中より産休を取得した保育教諭が1名発生したため、令和6度に正職の保育教諭と嘱託の保育教諭をそれ

ぞれ1名採用した。よって、令和6年度の体制は園長を含めた保育教諭が19名（うち嘱託4名）、給食（管理栄養士・栄養士）職員が3名、事務職員が1名となっている。退職した園長の後任は主幹保育教諭を昇格、また事務主任を事務長に昇格させる人事も合わせて行った。

認定こども園では、十分なパート職員の配置が重要となるが、令和6年4月現在、保育教諭、保育補助、看護師、調理補助、事務補助、送迎バス運転として30名程度のパート職員雇用している。近年、人員の確保が難しい状況があり、一部は人材派遣会社に依頼し職員を確保している。公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和6年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

<那珂川第二幼稚園>

令和3年度募集より、新入園児が減少。令和5年度の園児数は令和2年度から35%減となった。また、那珂川市の未就学児の人口も減少傾向にあることから、令和6年度より私学助成園から施設型給付園へ移行する組織改編を行い、利用定員を240名から180名に減員した。

令和4年度は、園長を含めた教員が19名（うち嘱託2名）、職員が1名、パート（預かり等保育補助、バス運転）8名であった。園児数の減少を受け、令和4年度末に6名の教員が退職したが、令和5年度は1名の採用に留め、14名（園長含む）体制とした。また、嘱託2名の内、1名の雇用形態を変更し、正職とした。令和5年度末に1名の退職者が発生したため、令和6年度に新卒者を1名採用した。また、令和5年度途中から産休に入った教員が1名いたことから、令和6年度1年間の期間限定で1名の嘱託教員を採用した。よって、令和6年度4月現在、園長を含めた教員が15名（うち嘱託2名）、職員が1名の16名体制となっている。パート職員については、保育補助として6名、送迎バス運転として2名を雇用している。令和4年度中に生じたバス運転手（パート）の欠員については、求人に対しての応募者が皆無のため、人材派遣会社への運転業務委託を継続している。施設型給付園への移行を完了し、当然ながら法令に則った人員の配置を行っている。今後も法令を満たす人員配置を行うが、那珂川第一幼稚園と同様に公共交通機関での通勤が難しい立地も教職員の確保の足かせとなっている状況があり、令和6年度以降もパートを含めた教職員の安定した確保が課題である。

施設・設備等について

■令和元年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 3号館空調設備及びトイレの改修工事
- ・(短期大学) 8号館エレベーターの取り換え工事
- ・(短期大学) ブロック塀(正門側)の改修工事
- ・(専門学校) 本館改修工事
- ・(香蘭幼稚園) 遊戯室空調新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 遊戯室外壁補修及び園庭通路ルーフ新設工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 送迎バス買い替え
- ・(法人) 春吉土地の売却

■令和2年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 第二マルチメディア(125)教室の更新
- ・(短期大学) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 電話機器(主装置・電話機)の更新
- ・(専門学校) 購買部の改修工事
- ・(香蘭幼稚園・法人) 第二運動場用地として隣地を購入・造成

■令和3年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 全館Wi-Fi化工事
- ・(短期大学) CAD室PC更新
- ・(短期大学) ブロック塀(那珂川沿い)改修工事
- ・(短期大学) 7, 8号館エレベーター建屋の防水工事
- ・(専門学校) パソコン室PC更新
- ・(那珂川第二幼稚園) 多目的トイレの新設工事

■令和4年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 1号館外壁(庇)簡易改修工事
- ・(短期大学) パソコン室更新工事
- ・(短期大学) 学生寮(那珂川寮・三宅寮)寮室Wi-Fi化工事
- ・(専門学校) 本館屋根の改修工事、照明LED化工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 園舎外壁塗装工事

■令和5年度に実施した施設・設備工事等の主要事案は以下のとおりである。

- ・(短期大学) 7号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 8号館外壁改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 7号館トイレ改修工事(令和4年度着手、令和5年度終了)
- ・(短期大学) 全館照明LED(省エネ)化工事
- ・(短期大学) 3号館エレベーター(2基)改修工事
- ・(短期大学) 全館機械警備導入工事(防犯カメラ・人感センサー・事務局電子錠の設置)
- ・(専門学校) CAD室PC更新工事
- ・(那珂川第一幼稚園) 照明LED化工事
- ・(那珂川第一幼稚園) 園児用トイレ増設工事(1階部分)
- ・(那珂川第二幼稚園) 照明LED化工事
- ・(那珂川第二幼稚園) 保育室、廊下及び園児用トイレのリフォーム工事(1階部分)

■令和6年度以降の「第2号基本金組入計画」にかかる工事等予定は以下のとおりである。

- ・(専門学校) 本館外壁改修工事: 60,000,000円(令和6年度)

財務の概要

(1) 令和5年度決算の概要

①資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払い資金（現預金）の顛末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、「学生生徒納付金収入」、「補助金収入」といった収入のみならず、授業料等の「前受金収入」、財務活動等の「その他の収入」などが含まれ、支出では、「人件費支出」、「教育研究経費支出」等以外にも「資産運用支出」、「その他の支出」などが含まれます。

令和5年度の資金収支の収入合計額は27億7,909万円（万円未満省略、以下同じ）で、前年度繰越支払資金の29億5,636万円と合計した57億3,545万円が収入の部の合計となりました。

収入の部の主な内訳は、学生生徒納付金収入が11億2,692万円、手数料収入が1,063万円、補助金収入が4億8,961万円、資産売却収入が4億962万円、付随事業・収益事業収入が7,615万円、受取利息・配当金収入が4,240万円、雑収入が3,797万円、前受金収入が2億8,788万円、その他の収入が6億8,135万円、資金収入調整勘定が△3億8,986万円でした。収入の中で特筆すべきものとしては、補助金収入の中に、令和2年度より開始した、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免相当分の支給額が1億68万円含まれています。

令和5年度の資金収支の支出合計額は26億2,492万円、翌年度繰越支払資金31億1,053万円と合計した57億3,545万円が支出の部の合計となりました。

支出の部の主な内訳は、人件費支出が10億8,983万円、教育研究経費支出が4億4,625万円、管理経費支出が1億2,696万円、施設関係支出が2億4,556万円、設備関係支出が3,684万円、資産運用支出が3億6,135万円、その他の支出が3億4,915万円、資金支出調整勘定が△3,105万円でした。教育研究経費支出の中に、「高等教育の修学支援制度」に係る授業料等減免額分の奨学金支出が1億68万円含まれています。

②活動区分資金収支計算書について

「活動区分資金収支計算書」は企業の財務諸表の内、キャッシュフロー計算書と類似した役割を果たす計算書となります。「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の3つに区分して、それぞれの区分での資金の増減を計算します。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができます。令和5年度の教育活動資金収支差額は795万円の収入超過となっています。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができます。施設整備等活動資金収支差額は1,305万円の収入超過となっています。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産の取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、1億3,316万円の収入超過となりました。これらの収支差額を合計した、支払資金の増減額は、1億5,417万円の増加となりました。その結果、前年度繰越支払資金29億5,636万円に、増加した1億5,417万円を加えた、31億1,053万円が翌年度繰越支払資金となりました。

③事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」は、企業の財務諸表の内、損益計算書に類似した役割を持つ計算書類です。当該年度の事業活動の収支を表すもので、経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に区分し、臨時的な収支は「特別収支」として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動の収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

令和5年度事業活動収支における事業活動収入計は18億8,274万円、事業活動支出計は19億6,042万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は7,768万円の支出超過で、基本金組入額は2,840万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができます。教育活動収入計は、17億4,514万円、教育活動支出計は19億5,685万円、教育活動収支差額は2億1,170万円の支出超過となりました。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、主に財務活動の収支を見ることができます。教育活動外収入計は4,240万円、教育活動外支出は0円、教育活動外収支差額は4,240万円の収入超過となりました。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、1億6,930万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、特別収入計は9,520万円、特別支出計は357万円で、9,162万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支を見ることができますが、結果として7,768万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、2,840万円の計上となりました。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、1億608万円の支出超過となりました。

④貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、令和6年3月31日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の減少の要因となった主なものは、減価償却額によるものです。「特定資産」の減少については、主として第2号基本金計画の終了に伴う引当特定資産を取り崩したことが主な要因です。「その他の固定資産」の減少については、有価証券の売却をしたことが原因です。

「資産の部」合計は本年179億4,227万円となり、前年度と比較して1億4,052万円減少しています。また、「負債の部」合計は8億4,950万円となり、前年度と比較して6,284万円減少しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、170億9,277万円となり、前年度と比較して7,768万円減少しました。

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）決算概要

①資金収支計算書

(単位 円)

収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,127,600,000	1,126,926,645		673,355
手数料収入	9,950,000	10,636,200	△	686,200
寄付金収入	6,550,000	6,374,614		175,386
補助金収入	467,400,000	489,618,588	△	22,218,588
資産売却収入	409,602,000	409,623,536	△	21,536
付随事業・収益事業収入	74,700,000	76,154,873	△	1,454,873
受取利息・配当金収入	41,200,000	42,401,087	△	1,201,087
雑収入	36,280,000	37,973,708	△	1,693,708
借入金等収入	0	0		0
前受金収入	271,000,000	287,888,520	△	16,888,520
その他の収入	648,004,000	681,355,437	△	33,351,437
資金収入調整勘定	△ 375,600,000	△ 389,861,917		14,261,917
前年度繰越支払資金	2,657,660,000	2,956,368,125		
収入の部合計	5,374,346,000	5,735,459,416	△	361,113,416
支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	1,110,480,000	1,089,834,991		20,645,009
教育研究経費支出	455,050,000	446,259,849		8,790,151
管理経費支出	126,650,000	126,962,904	△	312,904
借入金等利息支出	0	0		0
借入金等返済支出	0	0		0
施設関係支出	243,000,000	245,567,093	△	2,567,093
設備関係支出	38,930,000	36,842,436		2,087,564
資産運用支出	110,000,000	361,353,016	△	251,353,016
その他の支出	344,900,000	349,157,129	△	4,257,129
〔予備費〕				
資金支出調整勘定	△ 34,000,000	△ 31,057,053	△	2,942,947
翌年度繰越支払資金	2,979,336,000	3,110,539,051	△	131,203,051
支出の部合計	5,374,346,000	5,735,459,416	△	361,113,416

②活動区分資金収支計算書

(単位 円)

	科 目	金 額
教育活動	教育活動資金収入計	1,744,489,658
	教育活動資金支出計	1,662,640,510
	差引	81,849,148
	調整勘定等	△ 73,898,545
	教育活動資金収支差額	7,950,603
施設整備等活動	施設整備等活動資金収入計	316,123,200
	施設整備等活動資金支出計	302,409,529
	差引	13,713,671
	調整勘定等	△ 658,680
	施設整備等活動資金収支差額	13,054,991
小計（教育活動+施設整備活動）		21,005,594
その他の活動	その他の活動資金収入計	792,662,915
	その他の活動資金支出計	658,322,508
	差引	134,340,407
	調整勘定等	△ 1,175,075
	その他の活動資金収支差額	133,165,332
支払資金の増減額		154,170,926
前年度繰越支払資金		2,956,368,125
翌年度繰越支払資金		3,110,539,051

③事業活動収支計算書

(単位 円)

	科 目	金 額
教育活動	教育活動収入計	1,745,141,658
	教育活動支出計	1,956,850,669
	教育活動収支差額	△ 211,709,011
教育活動外	教育活動外収入計	42,401,087
	教育活動外支出計	0
	教育活動外収支差額	42,401,087
經常収支差額		△ 169,307,924
特別収支	特別収入計	95,204,666
	特別支出計	3,578,542
	特別収支差額	91,626,124
基本金組入前当年度収支差額		△ 77,681,800
基本金組入合計		△ 28,404,186
当年度収支差額		△ 106,085,986
前年度繰越収支差額		3,086,479,226
基本金取崩額		87,447,894
翌年度繰越収支差額		3,067,841,134

④貸借対照表

(単位 円)

資産の部			
科目	令和6年3月31日	令和5年3月31日	増 減
固定資産	(14,780,769,670)	(15,095,129,816)	(△ 314,360,146)
有形固定資産	< 8,403,859,939 >	< 8,430,570,569 >	< △ 26,710,630 >
土地	3,313,151,447	3,313,151,447	0
建物	4,437,518,145	4,345,342,147	92,175,998
その他の有形固定資産	653,190,347	772,076,975	△ 118,886,628
特定資産	< 6,248,919,486 >	< 6,557,601,003 >	< △ 308,681,517 >
その他の固定資産	< 127,990,245 >	< 106,958,244 >	< 21,032,001 >
流動資産	(3,161,508,536)	(2,987,676,227)	(173,832,309)
現金預金	3,110,539,051	2,956,368,125	154,170,926
その他の流動資産	50,969,485	31,308,102	19,661,383
資産の部合計	17,942,278,206	18,082,806,043	△ 140,527,837
負債の部			
科目	令和6年3月31日	令和5年3月31日	増 減
固定負債	(463,919,486)	(479,318,283)	(△ 15,398,797)
長期未払金	0	17,280	△ 17,280
退職給与引当金	463,919,486	479,301,003	△ 15,381,517
流動負債	(385,585,580)	(433,032,820)	(△ 47,447,240)
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	385,585,580	433,032,820	△ 47,447,240
負債の部合計	849,505,066	912,351,103	△ 62,846,037
純資産の部			
科目	令和6年3月31日	令和5年3月31日	増 減
基本金	(14,024,932,006)	(14,083,975,714)	(△ 59,043,708)
第1号基本金	13,584,932,006	13,350,675,714	234,256,292
第2号基本金	60,000,000	353,300,000	△ 293,300,000
第3号基本金	250,000,000	250,000,000	0
第4号基本金	130,000,000	130,000,000	0
繰越収支差額	(3,067,841,134)	(3,086,479,226)	(△ 18,638,092)
翌年度繰越収支差額	3,067,841,134	3,086,479,226	△ 18,638,092
純資産の部合計	17,092,773,140	17,170,454,940	△ 77,681,800
負債及び純資産の部合計	17,942,278,206	18,082,806,043	△ 140,527,837

(2) その他

①有価証券の状況

【総括表】

(単位 円)

	当年度 (令和 6年 3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	580,378,970	615,585,891	35,206,921
(うち満期保有目的の債券)	(500,000,000)	(510,549,600)	(10,549,600)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,313,785,682	1,272,694,883	-41,090,799
(うち満期保有目的の債券)	(1,194,887,362)	(1,156,302,350)	(-38,585,012)
合 計	1,894,164,652	1,888,280,774	-5,883,878
(うち満期保有目的の債券)	(1,694,887,362)	(1,666,851,950)	(-28,035,412)
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,894,164,652		

【明細表】

(単位 円)

種類	当年度 (令和 6年 3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	1,694,887,362	1,666,851,950	-28,035,412
株式	3,661,864	11,646,096	7,984,232
投資信託	195,615,426	209,782,728	14,167,302
貸付信託	0	0	0
合 計	1,894,164,652	1,888,280,774	-5,883,878
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,894,164,652		

②借入金の状況 … なし

③学校債の状況 … なし

④寄附金の状況

	金額 (単位：円)	寄付者
教育・研究環境の充実のための寄附	3,521,114	後援会・同窓会・保護者会・校友会より
〃	2,853,500	令和5年度短大卒業生より
	6,374,614	

⑤補助金の状況

(単位 円)

科目	金額
国庫補助金	136,812,900
経常費補助金	67,057,000
高等教育の修学支援補助金	69,755,900
その他の補助金	0
地方公共団体補助金	156,771,995
経常費補助金 (県)	98,826,000
その他の地方補助金	27,015,295
高等教育の修学支援補助金	30,930,700
施設型給付費	196,033,693

⑥関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

1) 当法人の理事長 (坂根康秀) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事長を務めている。
2) 当法人の副理事長 (坂根潤樹) が、社会福祉法人香蘭育成会の理事を務めており、当法人の理事長と親族である。
3) 当法人が所有する土地を、社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園の敷地として無償で貸与している。
4) 当法人と社会福祉法人香蘭育成会しおばる保育園と共同で福岡市の委託事業を受託しており、預り金のうち12,919,322円はしおばる保育園に分配される清算金である。

イ) 出資会社 … なし

⑦学校法人間財務取引 … なし

(3) 令和5年度の財産目録

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一) 基本財産		7,880,754,621
1 土地	福岡市南区横手1-59他	2,785,563,894
2 建物	短期大学本館他	4,437,518,145
3 構築物	短期大学外構他	137,127,128
4 教育研究用機器備品	短期大学教研用機器備品他	156,458,764
5 図書	短期大学図書他	332,923,548
7 その他の有形固定資産	短期大学管理用機器備品他	26,680,907
8 その他の固定資産	教務システム他	4,482,235
(二) 運用財産		10,061,523,585
1 土地	福岡市南区塩原3-379他	527,587,553
2 学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3 施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	2,350,000,000
4 退職給与引当特定資産	退職金引当資金	463,919,486
5 第2号基本金引当特定資産		60,000,000
6 第3号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	250,000,000
7 長期有価証券	長期投資用債券	120,245,166
8 現金預金	当座支払資金	3,110,539,051
9 未収入金	退職金財団交付金 他	47,887,177
10 その他の資産	出資金 他	6,345,152
資 産 合 計		17,942,278,206
二 負債額		
1 固定負債		463,919,486
(1) 退職給与引当金	期末要支給額	463,919,486
2 流動負債		385,585,580
(1) 未払金	共済掛金他	30,806,333
(2) 前受金	入学金、入園料他	287,888,520
(3) その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	66,890,727
負 債 合 計		849,505,066
正味資産総額 (資産合計－負債合計)		17,092,773,140

(4) 決算額の推移

①資金収支計算書

(単位 千円)

収入の部					
科 目	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
学生生徒等納付金収入	1,309,615	1,318,647	1,298,459	1,193,555	1,126,926
手数料収入	15,322	14,048	12,875	12,395	10,636
寄付金収入	7,822	8,602	9,192	6,984	6,374
補助金収入	370,240	509,256	527,925	494,448	489,618
資産売却収入	1,594,800	200,000	703,424	92,179	409,623
付随事業・収益事業収入	62,121	53,321	67,244	76,978	76,154
受取利息・配当金収入	51,002	41,287	35,906	31,009	42,401
雑収入	25,547	120,716	109,994	21,920	37,973
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	379,589	381,207	347,656	341,976	287,888
その他の収入	1,814,461	937,752	583,143	577,066	681,355
資金収入調整勘定	△ 614,265	△ 499,589	△ 499,049	△ 375,447	△ 389,861
前年度繰越支払資金	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368
収入の部合計	7,346,660	6,037,078	6,286,367	5,422,967	5,735,459

支出の部					
科 目	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
人件費支出	1,079,960	1,192,118	1,158,886	1,053,569	1,089,834
教育研究経費支出	371,306	435,985	445,938	478,634	446,259
管理経費支出	192,500	128,843	124,693	129,809	126,962
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	173,401	331,747	48,149	105,372	245,567
設備関係支出	42,309	59,277	44,415	55,914	36,842
資産運用支出	954,636	394,561	1,103,783	329,218	361,353
その他の支出	1,620,304	438,313	441,740	346,852	349,157
資金支出調整勘定	△ 39,587	△ 33,362	△ 31,143	△ 32,769	△ 31,057
翌年度繰越支払資金	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539
支出の部合計	7,346,660	6,037,078	6,286,367	5,422,967	5,735,459

②活動区分資金収支計算書

(単位 千円)

	科 目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動	教育活動資金収入計	1,789,901	2,021,033	2,009,159	1,805,570	1,744,489
	教育活動資金支出計	1,643,756	1,756,673	1,729,515	1,661,701	1,662,640
	差引	146,144	264,359	279,643	143,869	81,849
	調整勘定等	45,448	△ 98,433	△ 25,259	75,779	△ 73,898
	教育活動資金収支差額	191,593	165,926	254,384	219,648	7,950
施設整備等活動	施設整備等活動資金収入計	1,227,604	383,520	96,083	140,818	316,123
	施設整備等活動資金支出計	1,005,711	651,025	392,565	454,285	302,409
	差引	221,892	△ 267,505	△ 296,482	△ 313,468	13,713
	調整勘定等	8,244	△ 11,961	△ 9,346	11,895	△ 658
	施設整備等活動資金収支差額	230,137	△ 276,466	△ 305,828	△ 301,573	13,054
	小計（教育活動+施設整備活動）	421,730	△ 113,540	△ 51,444	△ 81,925	21,005
その他の活動	その他の活動資金収入計	2,076,250	646,123	1,122,941	442,295	792,662
	その他の活動資金支出計	1,637,637	533,735	1,211,186	352,160	658,322
	差引	438,612	112,388	△ 88,245	90,135	134,340
	調整勘定等	△ 238,918	138,918	0	△ 1,746	△ 1,175
	その他の活動資金収支差額	199,694	251,306	△ 88,245	88,389	133,165
	支払資金の増減額	621,425	137,765	△ 139,689	6,465	154,170
	前年度繰越支払資金	2,330,402	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368
	翌年度繰越支払資金	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539

③事業活動収支計算書

(単位 千円)

科目			平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,309,615	1,318,648	1,298,460	1,193,555	1,126,927
		手数料	15,323	14,048	12,876	12,395	10,636
		寄付金	7,823	8,602	9,243	6,984	6,375
		経常費等補助金	369,472	505,737	511,893	493,780	486,816
		付随事業収入	62,122	53,321	67,244	76,978	76,155
		雑収入	39,382	120,679	109,497	29,101	38,233
		教育活動収入計	1,803,736	2,021,035	2,009,212	1,812,793	1,745,142
	支出	人件費	1,085,684	1,206,666	1,168,000	1,057,652	1,075,102
		教育研究経費	619,726	688,327	699,508	732,374	702,879
		(内、減価償却額)	(248,296)	(252,647)	(253,398)	(253,672)	(256,485)
		管理経費	248,983	186,488	176,208	180,660	178,869
		(内、減価償却額)	(56,603)	(57,946)	(51,449)	(51,366)	(52,210)
		徴収不能額	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	1,954,392	2,081,480	2,043,716	1,970,685	1,956,851
教育活動収支差額			▲150,656	▲60,445	▲34,504	▲157,892	▲211,709
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	51,003	41,287	35,907	31,009	42,401
		その他の教育外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	51,003	41,287	35,907	31,009	42,401
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額			51,003	41,287	35,907	31,009
経常収支差額			▲99,654	▲19,158	1,403	▲126,884	▲169,308
特別収支	収入	資産売却差額	54,333	0	1,916	450	91,989
		その他の特別収入	785	3,658	16,627	718	3,215
		特別収入計	55,118	3,658	18,543	1,168	95,205
	支出	資産処分差額	47,248	1,671	1,993	13,995	3,161
		その他の特別支出	11	273	11	311	417
		特別支出計	47,259	1,944	2,004	14,305	3,579
	特別収支差額			7,858,459	1,714	16,538	▲13,138
基本金組入前当年度収支差額			▲91,795	▲17,444	17,941	▲140,021	▲77,682
基本金組入額合計			▲463,856	▲47,540	▲87,747	▲51,420	▲28,404
当年度収支差額 (当年度消費収入(支出)超過額)			▲555,651	▲64,983	▲69,806	▲191,441	▲106,086
前年度繰越収支差額			3,957,851	3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479
基本金取崩額			1,091	4,058	327	5,034	87,448
翌年度繰越収支差額			3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479	3,067,841
(参考1)							
事業活動収入計			1,909,856	2,065,981	2,063,661	1,844,969	1,882,747
事業活動支出計			2,001,651	2,083,424	2,045,721	1,984,990	1,960,429
(参考2)							
経常収入計			1,854,738	2,062,322	2,045,119	1,843,801	1,787,543
経常支出計			1,954,392	2,081,480	2,043,716	1,970,685	1,956,851

④貸借対照表

(単位 千円)

資産の部					
科目	平成31年度 (令和2年3月31日)	令和2年度 (令和3年3月31日)	令和3年度 (令和4年3月31日)	令和4年度 (令和5年3月31日)	令和5年度 (令和6年3月31日)
固定資産	(15,154,636)	(15,048,056)	(15,156,149)	(15,095,129)	(14,780,769)
有形固定資産	< 8,696,055 >	< 8,780,448 >	< 8,573,704 >	< 8,430,570 >	< 8,403,859 >
土地	2,995,586	3,313,151	3,313,151	3,313,151	3,313,151
建物	4,991,580	4,753,486	4,561,383	4,345,342	4,437,518
構築物	204,280	192,852	178,248	157,685	137,127
教育研究用機器備品	143,367	162,683	165,694	171,086	156,458
管理用機器備品	19,172	19,162	16,410	16,859	14,508
図書	332,488	333,168	333,211	334,558	332,923
その他の有形固定資産	9,581	5,942	5,606	91,887	12,172
特定資産	< 6,283,776 >	< 6,178,324 >	< 6,407,437 >	< 6,557,601 >	< 6,248,919 >
学図拡充引当特定資産	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000	3,125,000
施設更新引当特定資産	1,750,000	1,950,000	2,150,000	2,350,000	2,350,000
その他の引当特定資産	1,408,776	1,103,324	1,132,437	1,082,601	773,919
その他の固定資産	< 174,803 >	< 89,283 >	< 175,006 >	< 106,958 >	< 127,990 >
流動資産	(3,106,801)	(3,212,824)	(3,071,794)	(2,987,676)	(3,161,508)
現金預金	2,951,827	3,089,593	2,949,903	2,956,368	3,110,539
その他の流動資産	154,973	123,231	121,891	31,308	50,969
資産の部合計	18,261,437	18,260,881	18,227,944	18,082,806	17,942,278
負債の部					
科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定負債	(459,201)	(473,548)	(482,558)	(479,318)	(463,919)
長期未払金	424	224	120	17	0
退職給与引当金	458,776	473,324	482,437	479,301	463,919
流動負債	(492,257)	(494,796)	(434,909)	(433,032)	(385,585)
未払金	39,413	33,267	31,220	32,604	30,806
前受金	379,589	381,207	347,656	341,975	287,888
その他の流動負債	73,254	80,321	56,031	58,452	66,891
負債の部合計	951,458	968,345	917,467	912,351	849,505
純資産の部					
科目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本金	(13,906,688)	(13,950,170)	(14,037,590)	(14,083,975)	(14,024,932)
第1号基本金	12,826,688	13,190,170	13,257,590	13,350,675	13,584,932
第2号基本金	700,000	380,000	400,000	353,300	60,000
第3号基本金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
第4号基本金	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000
繰越収支差額	(3,403,290)	(3,342,365)	(3,272,886)	(3,086,479)	(3,067,841)
翌年度繰越収支差額	3,403,290	3,342,365	3,272,886	3,086,479	3,067,841
純資産の部合計	17,309,979	17,292,535	17,310,476	17,170,454	17,092,773
負債及び純資産の部合計	18,261,437	18,260,881	18,227,944	18,082,806	17,942,278

⑤財務比率

【貸借対照表分析】

	分類	比率	計算式	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	自己資金は充実されているか（純資産の部と総資産の比較）	純資産構成比率	純資産÷（総負債+純資産）	94.8%	94.7%	95.0%	95.0%	95.3%
		繰越収支差額構成比率	繰越収支差額÷（総負債+純資産）	18.6%	18.3%	18.0%	17.1%	17.1%
		基本金比率	基本金÷基本金要組入額	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	固定資産÷純資産	87.5%	87.0%	87.6%	87.9%	86.5%
		固定長期適合率	固定資産÷（純資産+固定負債）	85.3%	84.7%	85.2%	85.5%	84.2%
3	資産構成はどうか	固定資産構成比率	固定資産÷総資産	83.0%	82.4%	83.1%	83.5%	82.4%
		有形固定資産構成比率	有形固定資産÷総資産	47.6%	48.1%	47.0%	46.6%	46.8%
		特定資産構成比率	特定資産÷総資産	34.4%	33.8%	35.2%	36.3%	34.8%
		減価償却比率	減価償却累計額÷減価償却資産取得価格	46.3%	48.9%	51.3%	53.6%	54.5%
4	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	（運用資産－総負債）÷総資産	46.2%	45.8%	47.2%	53.0%	52.7%
		運用資産余裕比率	（運用資産－外部負債）÷経常支出	4.8	4.5	4.6	4.9	4.8
		流動比率	流動資産÷流動負債	631.1%	649.3%	706.3%	689.9%	819.9%
		前受金保有率	現金預金÷前受金	777.6%	810.5%	848.5%	864.5%	1080.5%
		退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産÷退職給付引当金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
5	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	固定負債÷（総負債+純資産）	2.5%	2.6%	2.6%	2.7%	2.6%
		流動負債構成比率	流動負債÷（総負債+純資産）	2.7%	2.7%	2.4%	2.4%	2.1%
		総負債比率	総負債÷総資産	5.2%	5.3%	5.0%	5.0%	4.7%
		負債比率	総負債÷純資産	5.5%	5.6%	5.3%	5.0%	5.0%
6	運用資産の保有状況はどうか	積立率	運用資産÷要積立額	155.0%	155.0%	150.2%	146.8%	146.3%

【事業活動収支分析】

	分類	比率	計算式	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額÷事業活動収入	-4.8%	-0.8%	0.9%	-7.6%	-4.1%
2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	学生生徒納付金÷経常収入	70.6%	63.9%	63.5%	64.7%	63.0%
		寄付金比率	寄付金÷事業活動収入	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%
		経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金÷経常収入	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.3%
		補助金比率	補助金÷事業活動収入	19.4%	24.6%	25.6%	26.8%	26.0%
		経常費補助金比率	経常費等補助金÷経常収入	19.9%	24.5%	25.0%	26.8%	27.2%
3	支出構成は適切であるか	人件費率	人件費÷経常収入	58.5%	58.5%	57.1%	57.4%	60.1%
		教育研究経費比率	教育研究経費÷経常収入	33.4%	33.4%	34.2%	39.7%	39.3%
		管理経費比率	管理経費÷経常収入	13.4%	9.0%	8.6%	9.8%	10.0%
		借入金等利息比率	借入金等利息÷経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		基本金組入比率	基本金組入額÷事業活動収入	24.3%	2.3%	4.3%	2.8%	1.5%
		減価償却額比率	減価償却額÷経常支出	15.6%	14.9%	14.9%	15.5%	15.8%
4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	人件費÷学生生徒納付金	82.9%	91.5%	90.0%	88.6%	95.4%
		基本金組入後収支比率	事業活動支出÷（事業活動収入－基本金組入額）	138.4%	103.3%	103.5%	109.9%	105.7%
		経常収支差額比率	経常収支差額÷経常収入	-5.4%	-0.9%	0.1%	-6.9%	-9.5%
		教育活動収支差額比率	教育活動収支差額÷教育活動収入計	-8.4%	-3.0%	-1.7%	-8.7%	-12.1%

【活動区分資金収支分析】

	分類	比率	計算式	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	教育活動でキャッシュフローが生み出しているか	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額÷教育活動資金収入計	10.7%	8.2%	12.7%	12.2%	0.5%

(5)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

①経営状況の分析

日本私立学校振興共済事業団から出されている、「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」を使用して、学校法人山内学園の経営成績・財政状態を診断すると、B0（イエローゾーンの予備的段階）に位置する。これは、教育活動資金収支差額（教育のキャッシュフロー）は黒字で、貸借対照表上の運用資産と外部負債のバランスは学校経営を行う上で問題がない水準であるが、事業活動収支計算書の経常収支が継続的な赤字に陥っている状況にある。赤字の原因は主として、香蘭女子短期大学の学生募集の状況が芳しくなく、定員充足率を満たせないことが要因である。

②経営上の成果と課題

令和3年度より、新たな中長期計画を策定し、3年目の計画年度となった。計画では学生・園児募集に力を入れ、収入を確保し、経費を圧縮することで経常収支の黒字化を目指すこととなったが、令和5年度は、香蘭女子短期大学部門、香蘭ファッションデザイン専門学校部門で赤字となった。特に、香蘭女子短期大学では学生募集がより一層厳しい状況となっている。香蘭女子短期大学部門は、令和6年度の高等教育の修学支援の機関要件変更に対応して収容定員数の減員を決定し、令和6年度より定員減となる。また、那珂川第二幼稚園については令和6年度に私学助成園から施設型給付に移行することとなった。

今後の課題は、少子化の進行により、学生・園児数の総数が減少する中、選ばれる学校として、存続していくことである。

③今後の方針・対応方策

学生募集をより、効果的に行うことと並行して、各種補助金の獲得・寄付金の募集・投資による資産運用収入の増加を目指していく。また、予算執行の厳正化を図り、経費の削減に努める。

(6) 監査報告書

監査報告書

令和 6 年 5 月 26 日

学校法人 山内学園

理事長 坂根 康 秀 殿

学校法人 山内学園

監事 武部 道孝

監事 矢ノ浦 慎祐

私たち監事は、私立学校法第 37 条 3 項及び学校法人山内学園寄附行為第 14 条の定めに基づき、令和5年度(令和5年 4 月 1 日から令和6年 3 月 31 日まで)の学校法人山内学園の業務執行状況、財産の状況及び、理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士(監査法人 北三会計社)と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

(1) 学校法人の業務若しくは財産状況又は理事の業務執行の状況は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。

(2) 資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表(付属内訳表を含む)並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上